



三鷹市では、市内飲食店が厳選したメニューを、自転車などでお届けする宅配サービス「デリバリー三鷹」を行っています。宅配手数料は無料で配達エリアは店舗から概ね3km以内です。注文はインターネット（前日注文）がおすすめです！



移動図書館「ひまわり号」を利用してみよう

移動図書館「ひまわり号」の巡回会場が、10月より旧どんぐり山から特別養護老人ホーム三鷹げんきに変更になります。また、西部図書館が改修工事で休館になるため、ひまわり号が大沢天神児童遊園に巡回することになりました。コロナ禍で外出する機会が減っていると思います。お散歩がてらお気に入りの一冊を見つけに出かけてみてはいかがでしょうか？



ひまわり号は、三鷹市立図書館と同じように貸出、返却、予約本受け取りなどのサービスが利用できます。利用カードは三鷹市立図書館と共通で、はじめての方でもその場で利用カードを発行してもらえます。

- ①羽沢小学校 ※入校の際は正門で「ひまわり号利用者カード」を着用してください。
日時：隔週木曜日 午後2時～4時
- ②特別養護老人ホーム三鷹げんき（正面玄関横）10月2日（金）からスタート
日時：隔週金曜日 午前9時30分～11時
- ③大沢天神児童遊園（大沢台小学童のある公園）9月26日（土）からスタート
日時：毎週土・日曜日 午前10時～11時30分、午後2時～4時

問合せ：0422-43-9151（三鷹図書館）

9月から社協の生活支援コーディネーターが交代しました！

新しく大沢地区の生活支援コーディネーターになりました安宅（あたぎ）と申します。大沢にお住いの皆さんと一緒に、より良い地域を目指して頑張ります！地域で見かけた時は、気軽にお声掛けください。どうぞよろしくお願いいたします。

（安宅）



生活支援コーディネーターは交代しますが、引き続き大沢地区の地域福祉コーディネーターとして、地域の様々な課題について皆さんと一緒に考え、解決のお手伝いをしていきます。困ったことや相談したいことがある時は、遠慮なくご相談ください。

（道三）

三鷹市社会福祉協議会 安宅 美佳
三鷹市大沢地域包括支援センター 和田 麻美子

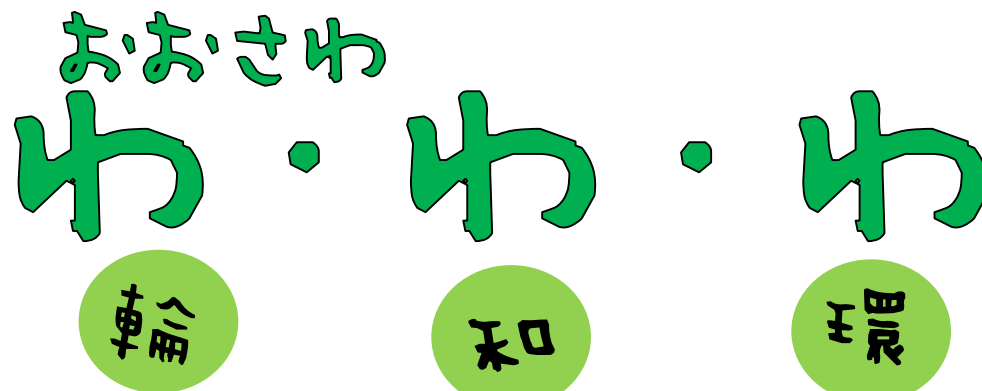
あだぎ みか
わた まみこ

電話：0422-76-1271 FAX：0422-76-1273
電話：0422-33-2287 FAX：0422-33-2220

三鷹市大沢地域情報誌

Vol.10

発行日：2020年9月



配達を頼んで 地元を応援！



チリンチリン三鷹は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年4月に始まった地域密着型の配達サービスです。地元の農家さんの新鮮野菜、お弁当、総菜、雑貨などを地元で活躍する多彩な配達員が自転車でお届けします。買い物に行きにくい市民とお客さんが減ってしまった飲食店、休業を余儀なくされた事業主をつなぎ、困った人たちがお互いに支え合いながら地域を元気にする取り組みです。

遠くへの外出を控えている今、地元への関心が高まっています。三鷹には魅力的な農家やお店がたくさんあります。チリンチリン三鷹を通して地元の魅力を発見し、あなたのお気に入りを見つけてみてはいかがでしょうか。（詳しくは添付のチラシをご覧ください）



配達員
ちーちゃん

「チリンチリン三鷹は、お客さま・お店の方々・配達員の距離がとても近く、人のつながりとあたたかさを感じることが出来る素敵なサービスだと思います。何かあった時に助け合えるのは、地域のつながりであることを実感しています。遠くに出かけることができなくても、三鷹ならではの味を笑顔とともに配達します！」

「コロナ禍でチリンチリン三鷹を通して野菜が手に入らなくて困っている人たちに野菜を届けられたらと思い参加しました。野菜を手にしてくれた人たちからの感謝や美味しかったなどの声をいただき本当に嬉しく思います。今後も地域の皆さんに安定して農産物が届けられるよう頑張っていきたいです。」



農家代表
森屋 賢さん



お店代表 鷹場そば 渡辺 常喜さん

「創業50年、東京五輪を迎えるにあたり2019年9月に建替リニューアルオープン！これからという時にコロナ禍が…。そんな時、地域密着のチリンチリン三鷹に参加！最初は農家と飲食店とを消費者へ繋ぐ役割でしたが、発展して地産地消に積極的な飲食店と販路拡大に意欲的な農家さんと思い一致して、欠かせない存在になってます。」

新型コロナウイルスに負けない！！

大沢地区の地域活動はどうなってるの？

大沢宿町会 会長 吉岡 克俊さん

①野球が好きで三鷹市野球連盟に所属し、新型コロナウイルスの影響で一時中断していましたが、現在は週3日定期的にグラウンドで汗を流しています。80代、90代の選手もいらっしゃるので、私も生涯野球を続けることが目標です。日頃は、大沢地区公会堂の管理など予定はいっぱいです。ステイホーム中も好きな料理をしたり、いつも何かしている質です。

②町会の部長会は現在も毎月実施していますが、大沢の里まつりや親睦会、新年会など、今年度の実施は難しいと考えています。そんな中、女性部の方々の発案で敬老の日のお祝い品は手渡しではなくポストに入れる等、例年とは異なる方法で配布を行います。今年は積極的には親睦が出来ませんが、転居してきた若い方々も無理なく、気軽に町会に興味を持ってもらえるように声をかけているつもりです。



大沢住民協議会 森野 恵さん

①実は三鷹育ちで、コミセンは子どもの頃から通っていた場所なんです。コロナの前は賑やかな大沢コミセンでしたが、私自身もステイホームで気分が滅入ったり、体力が落ちたように感じました。大沢コミセンにいつも来館されていた方々が、今も変わらず元気でいらっしゃるだろうかと気がかりです。

②三鷹市の感染対策を受け、正面玄関での検温や手指消毒、使用人数の制限、利用者の名簿作成、使用した備品などの消毒を実施しています。住民協議会主催のお祭りなどのイベントや個別での会議室の貸し出しは現在も中止しています。団体利用や図書貸出は既に再開していますが、大幅に利用者が減少しています。この時期、何気ない挨拶や世間話だけでも元気になりますので、またみなさんに大沢コミセンで会えるのを楽しみにしています！



大沢下原町会 会長 海老澤 正美さん

①現役で仕事をしていた時から地域の人と接することがあり、人付き合いは好きな方です。自分の通院や趣味もあるけれど、町会以外にもほたるの里の事務局など予定はいつもいっぱいです。でも、最近はコロナの件で人前に出ることも少し減ってきました。

②町会は毎月の運営委員会、安心安全パトロールの青パトカー巡回などは継続していますが、盆踊りや秋祭りなど色々と中止になりました。コロナで町会の活動は限られてしまうけれど、中には新しく転居してきた方で町会に加入してくれる方がいらっしゃいます。町会加入のメリットと言われると難しいけれど、ここがふるさとになる子どものためにも大人がその環境を作ってあげたい。そのためには、地域に知り合いが増えることは大切だから、町会の活動も大切にしたいと思います。



大沢松寿会 会長 青柳 真智子さん

①新型コロナウイルスで外出を自粛していた期間は、普段忙しくて手をつけられなかった自宅の掃除や片づけをしました。おかげで家の中が少しだけすっきりしました！また、Yシャツの切れ端でマスクを作ったり、自宅にある布でエプロンを作ったりしていました。毎日、夕方に行う庭の草取りは日課になっています。

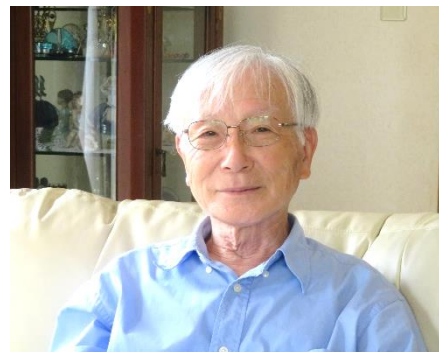
②大沢地区公会堂で輪投げや活け花、健康マージャン、大沢青少年広場などでグラウンドゴルフを再開しています。非接触型の体温計を購入したので活動日に体温を計ったり、マスク着用や換気などをして、新型コロナウイルス対策をしています。誕生会、体操、その時々々の講話や歌、茶話会などを行っている「火曜会」は、参加人数が多いため9月から1階と2階の2つのグループに分け、体操と脳トレだけを交替で行う予定です。コーラスやカラオケ、現代日本舞踊もそろそろ活動の再開を考えています。



大沢原町会 会長 原 鶴夫さん

①新型コロナウイルスの影響で6ヶ月間お休みしていた「三鷹大沢・宮沢賢治の会」を9月から再開することにしました。この不安で長い暇な時間をどう過ごそうかと講師の宮澤さんの発案で、過去40回の読書会で読んだ作品の中から8作品の童話をベースに「賢治寄席」と称した落語を各2席ずつ書かれ、会員に配布しました、演者口上(いたらぬ講師の宮澤)と自己紹介され、あたかも上野鈴本演芸場にでも入った感じで会の皆さん方も楽しく暇つぶしが出来たと思います。賢治の作品は難しく毎回の読書会は緊張しますが、会のキャッチフレーズ「賢治とおしゃべり」とこの「寄席」は「おしゃべり」を身近に感じ、一時コロナウイルスを忘れるようでした。事務担当としては、お預かりした原稿をプリント、会員への配布と忙しく、そんなところにはコロナウイルスは寄りつかないようで助かっています。

②この間の町会活動はすべての市の方針に従いできるだけ必要な行事をこなすことで対処しています。条件付き施設開放後は原地区公会堂の開放、月1回の運営委員会および資源ごみ回収、回覧板、掲示板活用、敬老祝い等通常の年間行事に取り組んでいます。



福寿会 会長 小野 園子さん

①今年度から大沢住協の総務部会に所属することになり、新型コロナウイルスの影響でお休みだった部会が、9月から再開することになりました。また、市内の老人クラブで構成する三鷹市老人クラブ連合会(市老連)の理事をしていて、8月に市老連主催の「スマホの使い方講座」のお手伝いなどもしましたが、文化祭や芸能大会など大きなイベントは中止になりました。様々な活動が中止になり家にいる時間が増えたので、古毛糸でひざ掛けやテーブルクロスを作ったり、健康のために買い物かてら散歩をして過ごしていました。

②会員が交流を図るために毎月開催している定例親睦交流会は、3月から8月まで中止にしていたことが、9月から再開することになりました。ただし、密を避けるため会場となる大沢コミセンの部屋の人数制限があるので、いつもは午後で開催していましたが、午前と午後の2部に分けて開催しました。長い期間活動ができず会員の健康状態と生活面が気がかりなので、コロナ対策を万全にしつつ、お互い声を掛けあえるようにと思っています。

